

東大阪

鴻池新田会所

江戸時代の中頃まで、大和川は、河内平野を何本にもわかれて流れ、大雨が降るたびに洪水に悩まされていた。そこで、宝永元年（1704年）に大和川の付け替えが行われた。それが、柏原市安堂付近から堺市を通過して大阪湾に流れている現在の大和川である。付け替えでいらなくなった川、池床を開発して、約1000ヘクタールの新しい土地が出来た。その



国重要文化財指定の鴻池新田会所

所在地：東大阪市鴻池元町 2-30

最寄駅：JR学研都市線「鴻池新田」駅南東へ徒歩約5分

公開日：春4月1日～6月30日、秋9月1日～11月30日

開館時間：10：00～16：00

TEL：06-6745-6409

内の約200ヘクタールの鴻池新田を管理運営するための施設として、当時天下第一の豪商といわれた鴻池善右衛門宗利によってつくられた。

面積が約660㎡、単層入母屋造二重本瓦葺で建てられた会所の中心的役割をする本屋と、南北約24m、東西約12mあり、新田から収穫された年貢米を納めた黒壁土蔵の米蔵など5棟の建物と棟札が国重要文化財に指定されている。

（川北武志）